

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1	会議名	令和8年度高山工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)																																												
2	開催日時	令和8年5月29日(金) 13:15~15:10																																												
3	開催場所	高山工業高等学校 校長室																																												
4	参加者	<table border="0"> <tr> <td>会長</td> <td>上井 俊樹</td> <td>高山工業高等学校 育友会長</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>見山 政克</td> <td>高山市教育委員会 教育長</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委員</td> <td>中西 史子</td> <td>高山市立日枝中学校 校長</td> </tr> <tr> <td>松井 健治</td> <td>高山市立花里小学校 校長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上井 俊樹</td> <td>高山工業高等学校 育友会長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>松葉 敦</td> <td>千島町内会副会長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白川 博子</td> <td>高山商工会議所 女性会 会長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>北村 卓也</td> <td>飛騨木工連合会副理事長 日進木工株式会社 代表取締役社長</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学校側</td> <td>岩島 義則 校長</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>松本 正人 教頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中藪 朋美 事務長</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>梶井 真也 教務主任</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>武藤 哲平 生徒指導主事</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>山下 泰司 進路指導主事</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>門前 雅人 工業部長</td> </tr> </table>	会長	上井 俊樹	高山工業高等学校 育友会長	副会長	見山 政克	高山市教育委員会 教育長	委員	中西 史子	高山市立日枝中学校 校長	松井 健治	高山市立花里小学校 校長		上井 俊樹	高山工業高等学校 育友会長		松葉 敦	千島町内会副会長		白川 博子	高山商工会議所 女性会 会長		北村 卓也	飛騨木工連合会副理事長 日進木工株式会社 代表取締役社長		学校側	岩島 義則 校長			松本 正人 教頭			中藪 朋美 事務長			梶井 真也 教務主任			武藤 哲平 生徒指導主事			山下 泰司 進路指導主事			門前 雅人 工業部長
会長	上井 俊樹	高山工業高等学校 育友会長																																												
副会長	見山 政克	高山市教育委員会 教育長																																												
委員	中西 史子	高山市立日枝中学校 校長																																												
	松井 健治	高山市立花里小学校 校長																																												
	上井 俊樹	高山工業高等学校 育友会長																																												
	松葉 敦	千島町内会副会長																																												
	白川 博子	高山商工会議所 女性会 会長																																												
	北村 卓也	飛騨木工連合会副理事長 日進木工株式会社 代表取締役社長																																												
	学校側	岩島 義則 校長																																												
		松本 正人 教頭																																												
		中藪 朋美 事務長																																												
		梶井 真也 教務主任																																												
		武藤 哲平 生徒指導主事																																												
		山下 泰司 進路指導主事																																												
		門前 雅人 工業部長																																												

5 会議の概要(協議事項)

(1) 会長、副会長の選出について

委員より承認が得られた。

(2) 「指導の重点及び学校経営計画」校長が説明

「学校運営機構」「教育課程」教頭が説明

(3) 「指導の重点」教務主任、生徒指導主事、進路指導部長、工業部長が説明

意見1：生徒が小学校など外へ出て、ものづくりの楽しさを伝えるイベントで、工業高校ではこういうことがやれるということをアピールすると、高山工業を志望する生徒も増えるのではないかと。(→工業部)

意見2：朝日の義務教育学校を開校するにあたって、大学生、高校生と一緒に探究的な学習を行う。高山市の中で仕事ができ、起業もでき、全国、世界とも繋がっていきるといってこまで経験させ、高校や高等教育に送っていかないと、ほとんど高山市に出ていくだけになるので、そこまでしようという一つのモデルを作る。朝日を皮切りにして、探究活動をやりながら、学問や仕事の楽しさを中学生に経験させたい。高山工業にもぜひ協力いただきたい。(→工業部)

意見3：英語のスピーキングの評価やプログラミング学習の参考としては、AIは必要な

もの。ただ、思考判断の部分は義務教育の中では絶対に使わない。工業高校では AI をどのように使っているか。

⇒・授業の中でしっかりと位置付けて、その活用の仕方を教えることは行っていない。

・例えば、3年生が進路に関する志望動機の添削に使用する。

・昨年も生徒は AI に志望動機を書かせている。それを見た担任が、これは自分の言葉じゃないだろう、ということで使わせなかった。自分が考えていることをたどたどしくてもいいから表現しなさい、ということで比較対象として AI を使うという方法もある。(→教務部、進路支援部)

意見 4：中学生にとって、科を決めるということが難しい生徒もいる。総合工学科群で 4 つの科の実習をし、自分の手を動かしてやってみる中で決めていくということは、ミスマッチをなくすという意味で、とてもいいことだ。(→工業部)

意見 5：この町内の今年度のスローガンは「かわす挨拶広がる笑顔」。やはり挨拶は、社会人になってとても大事なこと。地域の方、また近隣の方と交流する場合にも本当に大事なことなので、挨拶ができる生徒になってほしい。(→生徒支援部)

意見 6：工業高校ならではのスキルを身につけることが一番大事なこと。そこはやはり磨いてほしい。若い世代に技術を磨いてもらうことは、地元の企業としても一番大切なこと。地元でいろいろな面で貢献できる生徒がいることは、企業的にもいろいろな面でうれしいことである。(→工業部)

意見 7：今、大学に行っても 3 人に 1 人しか地元に戻ってこないと言われている。そうになると地元に戻ってくる人が本当少なくなる。(→進路支援部)

意見 8：高山では観光業が増えていて、ホテルもまだまだ新しくできている。観光業にどんどん人がとられて、工業系の人材がこれから減っていけば、高山のインフラを守る人達、そして我々の基幹産業となる木工、電気系や建築などの分野の担い手がどんどん減っていくのではないかという心配を、本当にしなければならない。(→進路支援部)

(2) 「卒業生と語る会」について

意見 9：自分がやっていること、自分が目指してきたことを、自分の頭の中で理解して話しているし、プレゼンもまっすぐ前を向いて話しをしている。年々、レベル上がっている。すばらしい。

意見 10：的確な言葉で話している姿を見て、社会人 1 年目であれだけの適切で明確な意見が言えることに感心した。

意見 11：非常に堂々と話しているという印象。まだ職業人としては駆け出しなのかもしれないが、この工業高校で身につけた知識や経験を生かして、自己実現に向けて非常に頑張っているという印象だったので、できれば皆さんの話を全部聞きたかった。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会において会長、副会長が選出され、「指導の重点及び学校経営計画」「学校運営機構」「教育課程」について、全委員より承認が得られた。また「指導の重点」についていただいた課題や視点は、今後の学校運営に積極的に活かしていく。

第 2 回の協議会では、生徒、学校運営協議会委員・保護者向け「学校評価アンケート」の分析を行い、中間報告と振り返りを実施。また、それを受けて年度末までの取組みについて協議する予定である。